



ເຮົາຈະຄຽງຄູ່ກັນໄປ “ລາວ - ອີ່ປຸ່ນ”（共に歩む ラオスと日本）  
日本とラオスの小学生が、**スカイプ**で国際交流授業  
— 青年海外協力隊で派遣の教員が子どもたちを結ぶ —

生駒市立鹿ノ台小学校では、本校職員の北野有紀が、鹿ノ台小学校に籍を置きながら、青年海外協力隊現職教員参加制度を利用して今年度よりラオスに赴任しています。北野は、ラオスの教育充実のため、教員の養成校での指導を行うとともに、現地の小学生との交流も行い活動の枠を広げています。

今回、6年生が社会科授業「世界の中の日本とわたしたち」を学ぶにあたって、昨年度5年生時に担任していた北野がラオスに協力隊員として派遣されていることの意味を学ばせるとともに、ラオスと日本の児童同士の交流を行わせることでお互いの国に対する理解を深めさせたいと思い、スカイプを活用した交流授業を企画しました。



■ スカイプを活用した交流授業

- ◇ ねらい
  - ・ラオスと日本の小学生同士をテレビ電話でつなぎ、国際交流を持つ。
  - ・お互いの国の文化を紹介しあうことで異文化を知る。
  - ・日本が行う国際協力について知る。

- ◇ 参加者
  - ラオス現地校 5年生（最高学年） 25名
  - 鹿ノ台小学校 6年生 104名（3クラス）

- ◇ 日程
  - 3月4日（月）10：40～12：15（3・4校時）
  - （ラオス時間 8：40～10：15）

◇ 授業内容

1. 青年海外協力隊としての活動紹介（北野）
2. ラオスの国紹介 国旗・文化・環境などについて（北野）
3. ラオスの小学校案内（北野）
4. 児童の交流
  - ・日本語・ラオス語での自己紹介
  - ・お互いの文化交流（踊り・折り紙・茶道）
  - ・お互いの国紹介（服装・髪型・食べ物・遊びなど）

5. 質問タイム

- ※ 1. 2. についてはラオスの教員養成校、3. 4. 5. についてはラオスの小学校との中継。
- ※ 当日は、市長もスカイプで通信を行います。